

# YCU PLAN

## 2022

(公立大学法人横浜市立大学 令和4年度 計画・予算概要)



## 公立大学法人 横浜市立大学

Public University Corporation Yokohama City University

## はじめに

令和4年度は、第3期中期計画(平成29年度～令和4年度)の最終年度となります。これまで5年間で積み上げた実績をもとに、次期第4期中期計画の策定方針や時代認識を念頭に置きつつ、「第3期の総仕上げと第4期へ発展的に移行させる重要な年」との位置付けのもと、令和4年度計画を策定しました。

この認識のもと、令和4年度計画では、「コンプライアンス・ガバナンスの強化」、「新型コロナウイルス感染症への対応(ウィズコロナ・ポストコロナ)」、「SDGs・ダイバーシティの一層の推進」、「様々な場面でのDX推進に向けた取組」を法人の重要・共通課題と位置付けています。

令和4年度計画では、国内外で未だ大きな影響が続く新型コロナウイルス感染症(COVID-19)(以下「新型コロナ」)という。)による先行き不透明な状況においても、YCU ミッションのもと、学生、患者、広く市民に対して本学がすべきことを教職員が一体となって進めていきます。第4期中期計画、そして大学創立100周年とその先を見据えて教育・研究・医療に取り組み、第3期中期目標・計画の確実な達成とともに、大学・病院の特長をより一層伸ばし、さらなる発展を目指していきます。

### ～YCU PLAN とは～

公立大学法人横浜市立大学が当該事業年度に取り組む主な事業、年度計画をまとめた冊子です。YCU PLAN をご覧になることで、本学が取り組む当該事業年度の特色ある事業について把握することができます。

なお、過年度のものを含め、本学ウェブサイト上にて公開していますので、是非ご参照ください。

URL:<http://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/corp/finance/index.html>

### ≪用語解説≫

#### ①中期目標・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第25条・78条

設立団体(横浜市)が、法人が達成すべき業務運営に関する目標を定め、法人に対して指示したものです。

なお、公立大学法人については、特例により中期目標期間が6年間となっています。

#### ②中期計画・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第26条

設立団体(横浜市)の指示(中期目標)に基づき、法人が計画的に業務を実施し、中期目標を達成するために策定するものです。法人が策定したうえで、設立団体の長(横浜市長)の認が必要になります。

なお、本法人においては、

第1期中期計画期間:平成17年度～平成22年度

第2期中期計画期間:平成23年度～平成28年度

第3期中期計画期間:平成29年度～令和4年度であり、令和4年度は第3期中期計画期間の最終年度にあたります。

#### ③年度計画・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第27条

事業年度の開始前に、中期計画に基づき、その事業年度の業務運営に関する計画を定めたものです。当該事業年度の法人全体(教育・研究・地域貢献・国際化・附属2病院・法人経営)の取組について、個別具体的に記載した計画となります。

#### ④予算・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第27条 ※年度計画の一部

年度計画に基づく法人における教育、研究、診療その他の活動に関する計画を明確に計数化したものです。本法人では、大学、附属病院、附属市民総合医療センターの3部門をそれぞれ予算単位としていますが、最終的には3部門を合算して法人として表示しています。

## 目次

公立大学法人横浜市立大学 令和4年度計画概要図	1 頁
<令和4年度 主な取組>	
I 教育・研究に関する主な取組	2 頁
II 地域貢献に関する主な取組	3 頁
III 国際化に関する主な取組	3 頁
IV 附属2病院に関する主な取組	4 頁
V 法人の経営に関する主な取組	6 頁
<令和4年度 見込損益計算書>	
【法人全体】	7 頁
【大学】	8 頁
【附属病院】	9 頁
【附属市民総合医療センター】	10 頁
<参考>	
令和4年度 法人収支計画(現金ベース)	11 頁

引き続き新型コロナの流行状況等により、令和4年度計画の当初目標・内容変更を余儀なくされることも想定されます。そのような状況においても、柔軟な発想で対応策・代替措置等の検討を行い、計画達成に向けて取り組んでいきます。

### ■SDGs アイコンについて

SDGsとは、国際連合が2015年に定めた、持続可能な社会実現のための17項目からなる目標(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)の略で、2030年の達成を目指すものです。

本学では、教育・研究・法人経営各分野の取組みを通じ、SDGsを推進しており、YCU PLANでは、取組ごとに関連するSDGsアイコンを記載しています。

その他の取組は本学 Web サイトをご覧ください。

[https://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/activity/sdgs/sdgs\\_info.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/activity/sdgs/sdgs_info.html)



	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
国など	大学改革実行プラン 国立大学 第3期中期目標・計画 (2016~2021)	18歳人口減(2018年問題) 新専門医制度開始	第7回アフリカ開発会議 ラグビーワールドカップ 2019™日本大会	高等教育修学支援新制度 大学入学者選抜改革	東京2020オリンピック・パラリンピック	国立大学 (~2027) 第4期中期目標・計画
横浜市	中期4か年計画 よこはま保健医療プラン	中期4か年計画 (2018~2021) よこはま保健医療プラン (2018~2023)				次期中期4か年計画
YCU	第3期中期目標・中期計画 (2017~2022)					
主な実績	大学創立90周年記念式典		大学創立100周年事業 (~2028)			病院150周年記念式典
	DS学部/看護博士後期課程 開設	国際教養学部・国際商学部・理学部 開設	第22代相原道子学長就任	第5代小山内いつ美理事長就任	高等教育推進センター設置	
	■かもめプロジェクト創設 ■国際交流型シェアハウスの開設 ■横浜市乳がん指定連携病院の指定【附・セ】 ■肝疾患診療連携拠点病院の指定【附】 ■高度救命救急センターホットラインの開設【セ】 ■学長表彰制度の創設 ■YCU人材育成プラン新設	■データサイエンス学部・医学研究科看護学専攻博士後期課程開設 ■インノベーションシステム整備事業が文科省事後評価で最高評価5評価取得 ■「緩和ケアセンター」設置【附】及び外来化学療法室増床・放射線治療装置の更新【セ】	■国際教養学部・国際商学部 開設 ■TICAD7等へのボランティア派遣者数大幅増 ■新型コロナウイルス発生初期の対応【附・セ】 ■病院機能評価「一般病院3」の認定【セ】 ■「附属2病院・医学部等再整備構想案」策定	■第22代相原道子学長就任 ■データサイエンス研究科開設 ■みなとみらいサテライトキャンパス開設	■第5代小山内いつ美理事長就任 ■大学機関別認証評価受審	

**YCU ミッション**  
国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

**取組の基本方針**  
■「横浜から世界へ羽ばたく」人材育成と知の創生・発信  
■学生・市民・社会に対して本学が有する知的・医療資源の還元

**4年度の位置付け**  
第3期中期計画（平成29年度～令和4年度）の最終年度となる令和4年度は、これまで積み上げた実績をもとに次期中期計画の策定方針や時代認識を念頭に置きつつ「第3期の総仕上げと第4期へ発展的に移行させる重要な年」です。

### I 教育・研究

(【】は計画番号)

4 質の高い教育をみんなに

9 産官学連携等によるイノベーションの促進

- ◆全学データサイエンス教育推進、共通教養新カリキュラム・新たなAPE (Advanced Practical English) プログラム策定、国際総合科学群各学部の将来構想まとめ【1】【5】【6】
- ◆高等教育推進センター設置による全学断片的な教育の質の向上【3】
- ◆LMS (Learning Management System) 活用による「学修者本位の教育の高度化」【3】
- ◆データ思考イノベティブ人材フェローシップ制度による博士後期課程学生支援【8】
- ◆学長裁量事業（戦略的研究、学術的研究）による研究推進【11】【12】
- ◆トランスレーショナルリサーチのさらなる促進【11】

### IV 附属2病院

(【附】は附属病院、【セ】は附属市民総合医療センター)

3 すべての人に健康と福祉を

- ◆医療分野・医療提供【22~24】
  - ・遠隔医療体制 (Tele-ICU) 「支援センター」の24時間365日体制稼働活用【附】
  - ・高度薬学管理機能をもった敷地内薬局の整備【附】
  - ・紹介患者の初診予約方法の利便性向上【セ】
  - ・外来化学療法室の拡充と外来診療の効率的な運用 (R4・R5の2か年で実施)【セ】
- ◆医療人材の育成【25~27】
  - ・医師・看護師のタスクシフト推進【附・セ】
  - ・病院経営人材の育成【附・セ】
- ◆地域医療【28~30】
  - ・地域医療連携の推進による地域医療の質向上への貢献【附・セ】
- ◆先進的医療・研究【31~32】
  - ・臨床研究中核病院の承認に向けた研究支援体制の強化【附】
- ◆医療安全・病院運営【33~37】
  - ・医療費後払いシステムによる院内滞在時間の短縮【附・セ】
  - ・患者ニーズに対応した個室等の整備【附・セ】

### II 地域貢献

17 パートナシップで目標を達成しよう

- ◆教員地域貢献活動支援事業：地域実践研究支援の充実【16】
- ◆みなとみらいサテライトキャンパスを拠点としたイノベーション・スタートアップ支援・人材育成事業の展開【16】

### III 国際化

17 パートナシップで目標を達成しよう

- ◆新型コロナ対応のノウハウを活かした国際交流機会の確保【19】【20】
- ◆神奈川県、横浜市、横浜国立大学と連携した「留学生就職促進プログラム」の継続【19】【2】

### V 法人経営

16 平和と公正をすべての人に

8 働きがいも経済成長も

- ◆情報漏えい事案を風化させない個人情報保護の取組及びコンプライアンス推進【38】
- ◆働き方改革及びDX推進【42】【45】
- ◆医学部・病院等再整備事業の推進【46】
- ◆周年事業の浸透及び周年寄附事業の推進【47】【50】

### VI 自己点検

- ◆第3期中期目標達成と自己評価準備及び第4期中期計画策定【51】

# I 教育・研究に関する主な取組

## 1 教育に関する主な取組

- 全学データサイエンス教育の推進、共通教養新カリキュラム・新たな APE (Advanced Practical English)プログラム策定、国際総合科学群の将来構想まとめ

文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に申請し、全学データサイエンス教育を一層推進します。また、国際総合科学群各学部の完成年度に合わせて、令和5年度からの全学共通教養新カリキュラム及び新たな APE プログラム実施に向けて全学的な検討を進めます。

次期中期計画を見据え、国際総合科学群各学部のカリキュラム充実に向けて設置理念の実現を図るとともに、各学部の将来構想をまとめます。

- 高等教育推進センター設置による全学を横断した教育の質の向上

全学を横断した FD・SD、教学 IR、高大連携及び教育手法開発を推進することで、教育の質の向上を図ります。

- LMS(Learning Management System)活用による「学修者本位の教育の高度化」

教学 IR における「学修成果の可視化」の実現に向け、「デジタルを活用した大学・高専等教育高度化プラン」(令和2年度文部科学省採択事業)により導入した LMS を活用して分析を行うことで、学修者本位の教育の高度化を推進します。

- 博士後期課程の学生支援

「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」(令和2年度文部科学省採択事業)を通じて、博士後期課程学生の生活支援及びキャリアパス・研究力向上の支援を行うとともに学生間の交流を促進します。

## 2 研究に関する取組

- 学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)による研究推進

第5期戦略的研究推進事業(令和3年度～令和5年度)を推進し、本学の強みとなる研究をさらに強化するとともに、学術的研究推進事業において学際的・融合的研究の推進及び若手研究者の多様な研究に対応できる新たな支援策を実施します。

- トランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)の推進

先端医科学研究センターを中心として、「トランスレーショナルリサーチ」をさらに促進していきます。

### 教育・研究関連の主な予算

○LMS 活用による「学修者本位の教育の高度化」	[ 19 百万円]
○博士後期課程の学生支援	[ 44 百万円]
○学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)	[200 百万円]
○研究支援体制の強化	[ 54 百万円]



## Ⅱ 地域貢献に関する主な取組



### ■教員地域貢献活動支援事業の充実

教員が自ら地域企業・行政等との連携を前提とした教育・研究活動を提案する「教員地域貢献活動支援事業：地域実践研究支援」を充実させ、学内外への情報発信を強化します。



### ■イノベーション及びスタートアップ支援・人材育成事業の展開

みなとみらいサテライトキャンパスを拠点に「横浜未来機構」と連携してイノベーション及びスタートアップ支の支援・人材育成事業を展開し、市の掲げる「イノベーション都市・横浜」を推進します。



本学サテライトキャンパス  
講義・イベントスペース

#### 地域貢献の主な予算

○教員地域貢献活動支援事業(学長裁量事業)

[ 10 百万円]

## Ⅲ 国際化に関する主な取組



### ■新型コロナ対応のノウハウを活かした国際交流機会の確保

渡日を希望する留学生の入国支援を行い、留学生の学修機会・学内での交流機会確保に努めます。在学生の留学についても、リスク管理指導を行いながら渡航プログラムを適切に実施し、オンラインプログラムとの効果的な併用を目指します。



### ■県、市、横浜国大と連携した「留学生就職促進プログラム」の継続

前年度で委託期間が満了した「留学生就職促進プログラム」(平成 29 年度文部科学省採択事業)によって構築してきた取組を引き続き、神奈川県、横浜市、横浜国立大学及び4者が中心となって連携して実施します。



#### 国際化の主な予算

○国際化関連事業

[114 百万円]

## IV 附属2病院に関する主な取組

※附属病院の取組は【附】、附属市民総合医療センターの取組は【セ】と表示



### 1 医療分野・医療提供等に関する主な取組

#### ■遠隔医療体制「支援センター」の24時間365日体制稼働【附】

遠隔医療体制(Tele-ICU)の支援センターを4月から24時間365日体制として稼働し、夜間帯を支援します。



#### ■高度薬学管理機能をもった敷地内薬局の整備【附】

ハイリスク薬や抗HIV薬の院外処方安全に行うにあたり、薬薬連携等を推進し、地域医療体制の充実に貢献します。

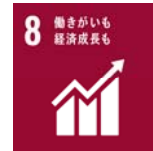
#### ■紹介初診予約の利便性向上【セ】

Web初診予約の拡充など、紹介患者の初診予約方法の利便性をさらに高めることで、初診患者の獲得を目指します。



#### ■外来化学療法室の拡充と外来診療の効率的な運用【セ】

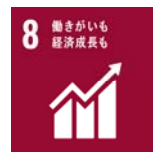
診療科の配置転換と施設改修を実施し、狭隘化している外来化学療法室の拡充と外来診療の効率的な運用を行います(R4・R5の2か年で実施)。



### 2 医療人材の育成等に関する主な取組

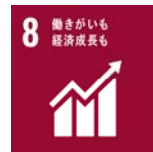
#### ■働き方改革の推進【附】【セ】

医師・看護師のタスクシフトを推進するため、医師事務作業補助者及び看護補助者の人材確保・キャリア形成を図ります。



#### ■病院経営人材の育成【附】【セ】

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」(文部科学省採択事業)の一環として開講している「YCU病院経営プログラム」や国際マネジメント研究科の「ソーシャルイノベーション社会人MBAプログラム:SIMBA」において常勤職員等の履修支援を行い、病院経営に資する人材育成を進めます。



### 3 地域医療に関する主な取組

#### ■地域医療連携の推進【附】【セ】

地域医療機関の訪問をはじめ、Web を利用した連携病院、訪問看護ステーション等を対象とした勉強会や相互実習の実施、地域連携パスの推進などを通じて、地域医療関係者との関係構築を進め、地域医療の質の向上に貢献します。



### 4 先進的医療・研究に関する主な取組

#### ■臨床研究中核病院の承認に向けた研究支援体制の強化【附】

戦略相談室に、学内支援、産官学連携、知財戦略を担う職員を新たに配置することで、臨床研究支援体制を強化します。また、臨床研究中核病院の承認要件を満たす支援体制を維持することで、大学病院として市・県域の臨床研究をリードします。



### 5 医療安全・病院運営に関する主な取組

#### ■医療費後払いシステムによる院内滞在時間の短縮【附】【セ】

クレジットカードとスマートフォンアプリを活用した医療費後払いシステムの導入・利用促進によって、会計待ち時間の適正化及び院内滞在時間の短縮化を図ります。



#### ■患者ニーズに対応した個室等の整備【附】【セ】

患者からのニーズに対応するため、4床室の個室化や既存個室の改修、4床室の2床室(半個室)化に取り組みます。



附属病院



附属市民総合医療センター

#### 附属2病院関連の主な予算

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| ○医療機器の更新・整備        | 【附】[753 百万円] 【セ】[747 百万円] |
| ○施設・設備の更新・整備       | 【附】[470 百万円] 【セ】[381 百万円] |
| ○臨床研究中核病院の申請や治験の推進 | 【附】[722 百万円]              |

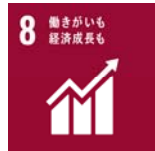




## V 法人経営に関する主な取組

### ■情報漏えい事案を風化させない個人情報保護の取組及びコンプライアンス推進

7月に設定する「個人情報取扱注意強化月間」における集中的な取組により事案風化を防止します。内部統制規程に基づく業務モニタリング等、法人の内部統制システムを確立する具体的な取組を実施します。



### ■働き方改革及びDX推進

医師の働き方改革への取組として、医師労働時間短縮計画を策定し、届出を行います。デジタル化による業務改革への取組として、AIチャットボットの導入による問い合わせ対応の自動化に着手します。

### ■医学部・病院等再整備事業の推進



「教育」「研究」「診療」の各領域検討委員会で、目指す姿や具体的な機能等の検討を行い、併せて医学部・病院等再整備(将来計画)検討本部会議で横浜市と一体となって「再整備基本計画(原案)」を作成します。

### ■周年事業の浸透及び周年寄附事業の推進

市大病院150周年記念式典や前年度学内で策定した「横浜市立大学の創立100周年にありたい姿」の学内浸透等により機運醸成を図ります。併せて、周年事業の目標達成を目指して、継続して法人トップ(理事長・学長)とファンドレイザーが中心となって渉外活動を行うとともに、法人全体で寄附意識の浸透を図ります。

周年ロゴマーク  
コンセプト「パレット palette」



## VI 自己点検及び評価に関する主な取組

### ■第3期中期計画目標達成と自己評価準備及び第4期中期計画策定

第3期中期計画の最終年度であることから、全ての計画で目標を達成するよう進捗管理を行います。併せて、次年度に実施する第3期中期計画の自己評価準備を進めます。

前年度受審した大学機関別認証評価の評価結果を第4期中期計画へ反映し、策定します。

#### 法人経営関連の主な予算

○AIチャットボットの導入	[ 4 百万円]
○医学部・病院等再整備事業の推進	[ 20 百万円]
○周年事業	[ 3 百万円]

# 【法人全体】見込損益計算書

<経常収益>

(単位:百万円)

区分	R4予算	R3予算	差引
運営交付金収益	11,894	11,934	▲ 40
授業料収益等	3,148	3,181	▲ 33
医業収益	63,826	60,148	3,678
受託研究等収益	3,393	3,446	▲ 53
補助金収益	804	791	13
その他収益	793	759	34
資産見返負債戻入	1,741	1,680	61
<b>経常収益 合計</b>	<b>85,599</b>	<b>81,939</b>	<b>3,660</b>

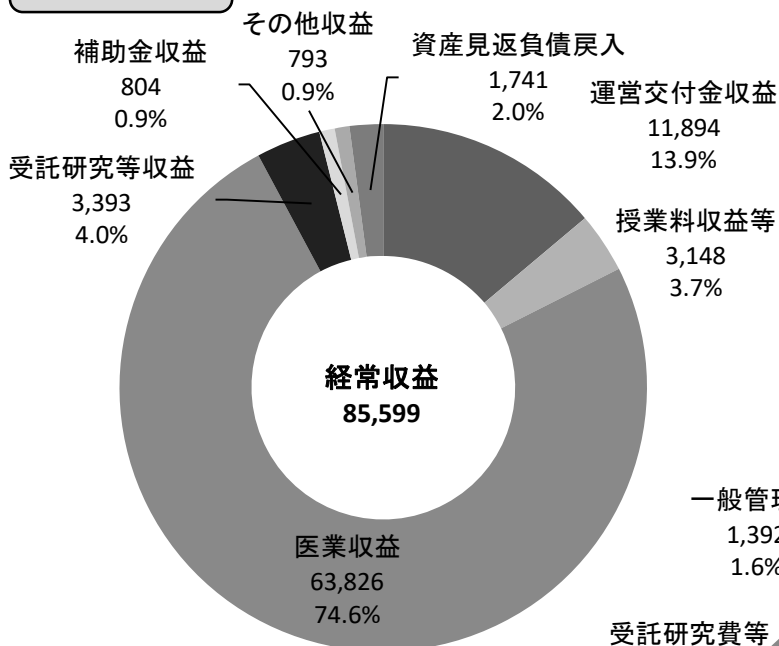
<経常費用>

区分	R4予算	R3予算	差引
教育研究経費	3,887	3,744	143
診療経費	36,667	34,342	2,325
人件費	36,805	36,065	740
受託研究費等	2,234	2,272	▲ 38
一般管理費	1,392	1,320	72
財務費用等	33	40	▲ 7
減価償却費	4,581	4,206	375
<b>経常費用 合計</b>	<b>85,599</b>	<b>81,989</b>	<b>3,610</b>

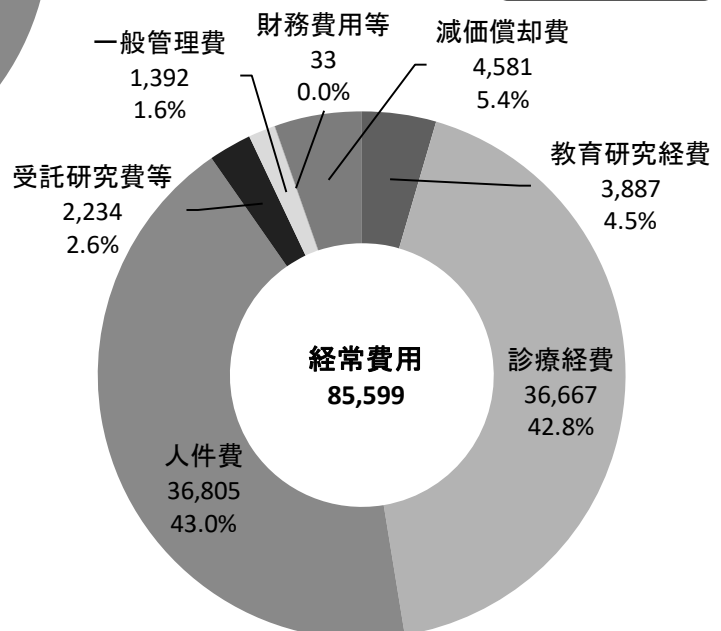
当期純損益	0	▲ 50	50
目的積立金取崩額	0	50	▲ 50
当期総損益	0	0	0

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 経常収益



## 経常費用



# 【大学】見込損益計算書

## <経常収益>

(単位:百万円)

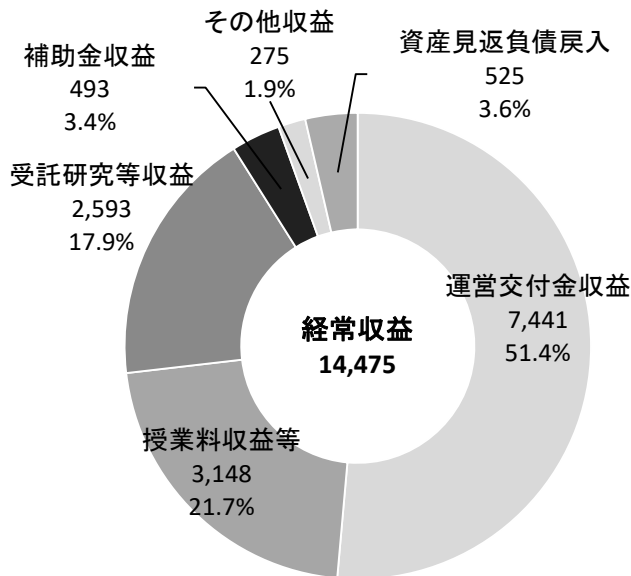
区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	7,441	7,378	63	固定資産取得の減
授業料収益等	3,148	3,181	▲ 33	学生数(実員)の減
受託研究等収益	2,593	2,703	▲ 110	実績見込による減
補助金収益	493	463	30	実績見込による増
その他収益	275	257	18	実績見込による増
資産見返負債戻入	525	529	▲ 4	
経常収益 合計	14,475	14,510	▲ 35	

## <経常費用>

区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
教育経費	1,303	1,232	71	大学フェローシップ創設事業の増
研究経費	1,884	1,822	62	戦略的研究推進事業の増
教育研究支援経費	389	387	2	
人件費	7,803	7,861	▲ 58	退職手当の減
受託研究費等	1,442	1,529	▲ 87	実績見込による減
一般管理費	902	914	▲ 12	消費税納付額の減
財務費用等	2	4	▲ 2	
減価償却費	750	809	▲ 59	償却対象資産の減
経常費用 合計	14,475	14,557	▲ 82	

当期純損益	0	▲ 47	47	
目的積立金取崩額	0	47	▲ 47	退職給付引当金数理計算上の差異
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

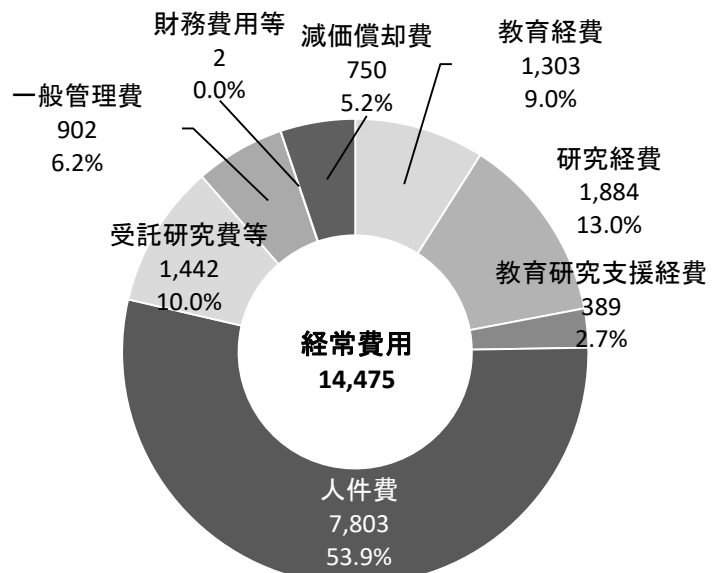


## 経常収益

- 運営交付金収益  
学費対象経費、学費対象外経費、退職手当(市負担分)
- 授業料収益等  
授業料等 2,747  
入学検定料 300  
入学金 101
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)  
受託・共同研究、奨学寄附金、補助金等
- その他収益  
実験実習費・施設整備費(学生納付金)、寄附金、エクステンション講座収入等

## 経常費用

- 教育経費、教育研究支援経費  
教材・実習費、授業料減免、図書館運営費、教育関連機器・設備維持管理費等
- 研究経費  
補助金、奨学寄附金等の外部研究費等
- 受託研究費等  
受託・共同研究、受託・共同事業
- 人件費  
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等  
八景C国有地賃借料、施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息、為替差損等



# 【附属病院】見込損益計算書

<経常収益>

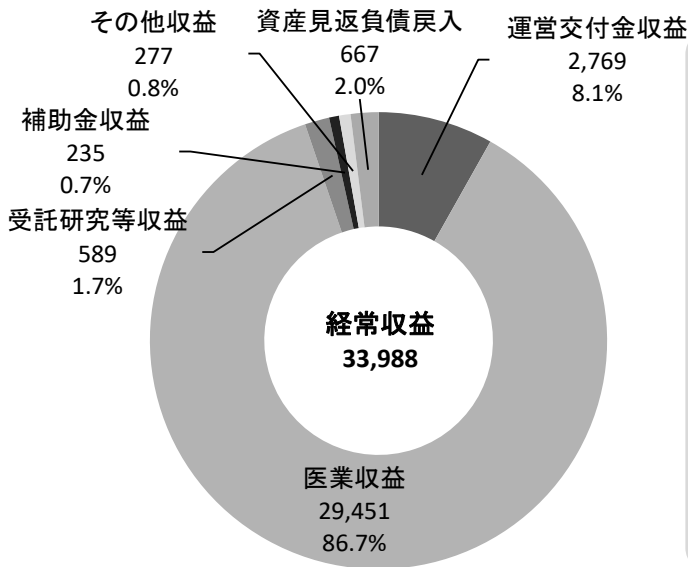
(単位:百万円)

区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	2,769	2,733	36	病院情報システム整備補助の増
医業収益	29,451	27,707	1,744	診療単価の増に伴う収入の増
受託研究等収益	589	577	12	
補助金収益	235	256	▲ 21	実績見込みによる減
その他収益	277	264	13	業務運営手数料の増
資産見返負債戻入	667	802	▲ 135	償却対象資産の減
<b>経常収益 合計</b>	<b>33,988</b>	<b>32,338</b>	<b>1,650</b>	

<経常費用>

区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
教育研究経費	143	139	4	
診療経費	17,529	16,375	1,154	医業収益拡大に伴う医薬材料費の増
人件費	13,587	13,307	280	教員人件費の増
受託研究費等	581	577	4	
一般管理費	230	190	40	消耗品費の増
財務費用等	12	13	▲ 1	
減価償却費	1,905	1,738	167	償却対象資産の増
<b>経常費用 合計</b>	<b>33,988</b>	<b>32,338</b>	<b>1,650</b>	
<b>当期純損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>目的積立金取崩額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期総損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

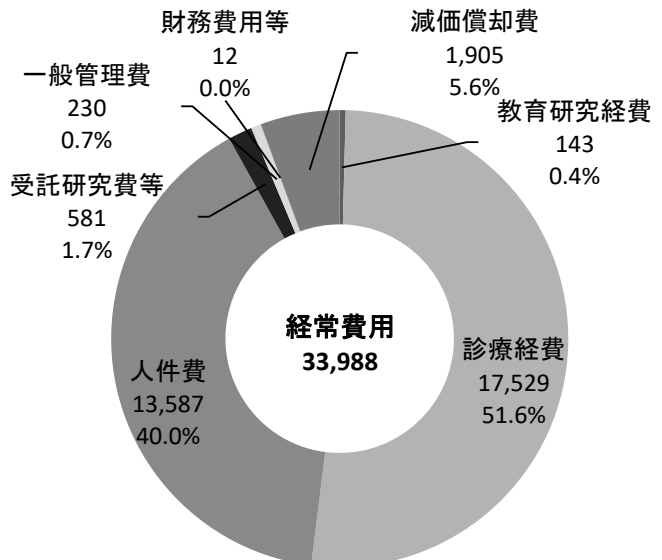


## 経常収益

- 運営交付金収益  
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支分のうち資産取得分除く
- 医業収益  
入院診療収益 18,697  
外来診療収益 10,449  
その他(査定減含む) 304
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)  
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益  
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舍料等

## 経常費用

- 教育研究経費  
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費  
材料費 12,330  
委託費 2,801  
その他 2,399
- 受託研究費等  
治験関連費用
- 人件費  
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等  
施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息



# 【附属市民総合医療センター】見込損益計算書

<経常収益> (単位:百万円)

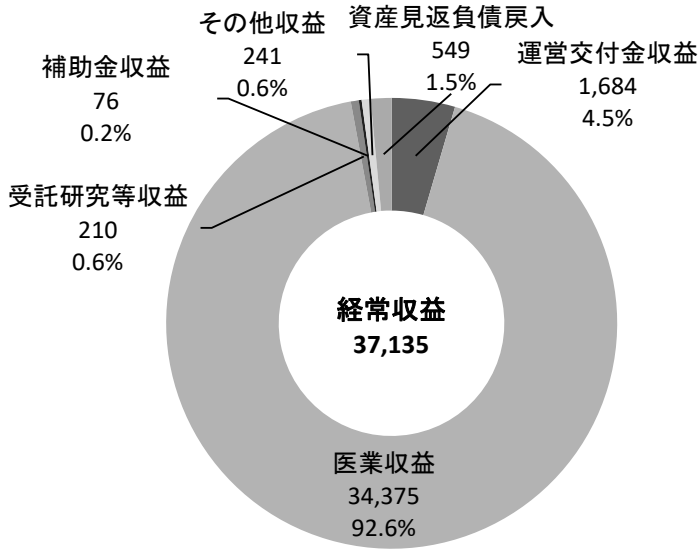
区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	1,684	1,822	▲138	退職手当(横浜市負担分)の減
医業収益	34,375	32,441	1,934	診療単価の増に伴う収入の増
受託研究等収益	210	167	43	受託事業収入の増
補助金収益	76	73	3	
その他収益	241	238	3	
資産見返負債戻入	549	350	199	償却対象資産の増
<b>経常収益 合計</b>	<b>37,135</b>	<b>35,090</b>	<b>2,045</b>	

<経常費用>

区分	R4予算	R3予算	差引	主な増減等
教育研究経費	168	164	4	
診療経費	19,138	17,967	1,171	医業収益拡大に伴う医薬材料費の増
人件費	15,415	14,896	519	職員人件費の増
受託研究費等	210	167	43	受託事業の増
一般管理費	259	216	43	消費税納付額の増
財務費用等	19	24	▲5	
減価償却費	1,926	1,659	267	償却対象資産の増
<b>経常費用 合計</b>	<b>37,135</b>	<b>35,093</b>	<b>2,042</b>	

当期純損益	0	▲3	3	
目的積立金取崩額	0	3	▲3	退職給付引当金数理計算上の差異
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

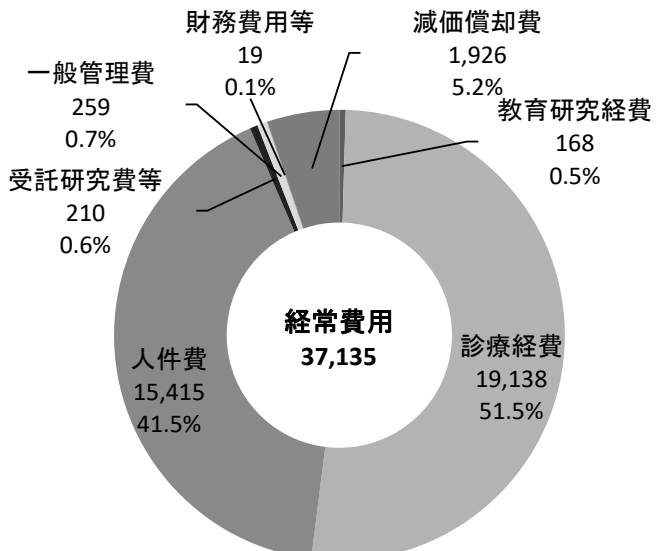


### 経常収益

- 運営交付金収益  
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支分のうち資産取得分除く
- 医業収益  
入院診療収益 22,123  
外来診療収益 12,012  
その他(査定減含む) 239
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)  
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益  
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舍料等

### 経常費用

- 教育研究経費  
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費  
材料費 13,252  
委託費 3,034  
その他 2,851
- 受託研究費等  
治験関連費用
- 人件費  
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等  
施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息



## 参考 令和4年度 法人収支計画(現金ベース)

### <収益的収支>

(単位:百万円)

	令和4年度予算
運営交付金 A	10,926
自己収入	68,556
授業料及び入学金検定料	2,948
附属病院収入	63,826
補助金収入	830
その他収入	952
受託研究収入等	3,340
貸付金収入(奨学金返還金)	9
目的積立金取崩額 C	0
<b>収益的収入 合計</b>	<b>82,830</b>

	令和4年度予算
業務費	78,447
教育研究経費	3,784
診療経費	37,185
一般管理費	1,412
人件費	36,066
貸付金(奨学金)	89
受託研究費等	2,377
<b>収益的支出 合計</b>	<b>80,913</b>

### <資本的収支>

(単位:百万円)

	令和4年度予算
運営交付金 B	1,720
長期借入金収入	1,500
目的積立金取崩額 D	803
負担金	0
<b>資本的収入 合計</b>	<b>4,023</b>

	令和4年度予算
施設整備費	2,887
長期借入金償還金	1,876
<b>資本的支出 合計</b>	<b>4,763</b>

### <参考>

(単位:百万円)

	令和4年度予算
全体(収入-支出)	1,178
目的積立金取崩額 C+D	803
運営交付金交付額 A+B	12,646

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。